

事業所における自己評価表（公表）
（児童発達支援）

公表：令和 2 年 3 月 1 9 日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5		・ 広いスペースが必要な時は、スポーツセンター等の施設を利用している。 ・ 活動内容によって場所を変更している。	・ 活動内容等を考慮しながら、必要に応じて療育室以外の施設も利用していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか。	5		・ 法令基準よりも多く職員を配置している。	・ 今後とも維持出来るよう努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5		・ ロッカー、テーブルの色分けをしたり、写真やイラストカード等、個々にわかりやすい方法で提示している。必要のない情報は、カーテン等で見えないよう配慮している。 ・ 保護者の方が、廊下から見学しやすいように、課題をする位置等を工夫している。	・ 個々の状況に応じて適切な環境となるよう心掛けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・ 手が触れる部分についてはこまめに消毒をするようにしている。 ・ 玩具等については定期的に消毒をしている。	・ 清潔な環境を保つため、室内及び物品の消毒をこまめに実施していきます。また、子ども達が過ごしやすよう、活動ごとに適切な環境となるよう工夫していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			・ 職員間で情報を共有し、業務改善に努めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5		・ 年に1度実施している。	・ 一年に一度、保護者向け評価表及び事業者向け自己評価表によるアンケート調査を実施しています。その結果を職員間で共有し、業務改善につなげております。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5		・ 上ノ国町ホームページで公表している。	・ 評価結果につきましては、上ノ国町のホームページにて公表しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・ 事業所に対する外部評価は行っていない。 ・ 療育場面の評価は実施している。	・ 事業所に対する外部評価は行っておりませんが、療育場面同様に職員間でその都度見直しをしながら、業務改善に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5		・ 随時研修に出席している。	・ 必要に応じて、研修会等に出席出来るよう配慮していきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			・アセスメントシートや個別懇談等をふまえ、子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5		・事業所内の共通アセスメント表を使用している。	・事業所内で共通のアセスメントシートを使用し、子どもの状況把握に努めています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・利用者の年齢や発達段階、特性に等応じた支援内容となるよう心掛けております。今後も適切な支援内容を設定出来るよう努めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援内容の振り返りや、計画内容を確認しながら支援を行っている。	・定期的に確認をし、適切な支援が行われるよう心掛けていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・グループ活動をする際は、職員間で話し合っている。	・職員間で情報を共有し、利用者が楽しんで活動出来るようなプログラムの立案に努めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・支援内容を振り返り、発達状況に合わせ、固定化しないよう配慮している。	・支援内容を振り返り、利用者の人数や状況に応じて、その都度活動内容が固定化しないよう工夫をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	5			・利用者の状況等を考慮して療育枠を決定しております。個別と集団を適宜組み合わせることは難しいですが、子どもの状況や保護者の要望に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	2	・適宜実施している。	・職員間での打ち合わせは、その都度必要に応じて実施しております。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3	2	・共有はしているが、話す回数をもっと増やしても良いと感じる。	・今後は、気づいた点等を随時伝え合い、情報の共有を密にしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・療育毎に記録を取り、支援の検証・改善につなげております。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5		・半年に一度実施している。	・児童発達支援計画は半年に一度評価を行い、その都度見直しをしています。今後も利用者の状況等を考慮し、適正な支援計画を作成するよう心掛けていきます。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5			・児童発達支援管理責任者及び担当指導員がサービス担当者会議に適宜出席するようにしております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	5		・保健師、関係機関と必要に応じてケース会議等を実施している。	・随時、関係機関との連携を図りながら取り組みを進めています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	3	2		・ 現在、対象となる子の通所がありません。 ・ 通所を希望される場合は、随時対応を検討していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	3	2		
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・ 必要に応じて実施している。	・ 必要に応じてケース会議等に出席しております。今後も随時、関係機関と連携を図るよう努めていきます。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・ 必要に応じて実施している。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5		・ 随時行っている。	・ 研修会への参加や、必要に応じてアドバイスをもらう等の連携を図っております。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		5		・ 上ノ国高校ボランティア局の生徒の協力を得て、交流事業を実施しております。 ・ 日程や時間帯の都合上、全ての利用者を対象にした機会の確保は難しいですが、今後も継続していきます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1		・ 児童発達支援管理責任者が各種会議等へ参加しております。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・ 療育内容や目的を伝えたり、保護者から家庭での様子を教えてもらう等して、共通理解につながるよう努めている。	・ 個別懇談や送迎時の短い時間ではありますが、その都度子どもの様子を伝え合えるよう心掛けていきます。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	1		・ ペアレントトレーニングという名の付くプログラムは実施していませんが、その都度子どもの行動について考え、どう対応(褒める)していくかお伝え出来るように心掛けていきます。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・ 利用前面談時や契約時に丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明な点がございましたらスタッフにお申し出ください。改めて説明をさせていただきます。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・ 利用者の特性と発達の様子、保護者のニーズを基に支援計画を作成しております。 ・ 作成した支援計画については、保護者の方に説明をし同意を得ております。 ・ 今後も丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者への説明責任等	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			・子育て等の相談につきましては、随時対応させて頂いております。今後も、迅速に対応していきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		5	・茶話会は実施しなかった。 ・保護者対象の学習会を実施したが参加者が少なかった。	・茶話会の開催につきましては次年度検討していきます。 ・保護者向け学習会につきましては、実施出来るようすすめていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情等の対応体制については療育室前の壁に掲示している。 ・相談等に対しては、随時迅速に対応するよう心掛けている。	・苦情等に関する相談窓口につきましては、契約書に記載している他、療育室前の壁にも掲示しております。 ・相談等につきましては、迅速かつ適切に対応するよう心掛けていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・月に一度、ひまわり便りを発行している。	・毎月発行している「ひまわり便り」において、行事予定や関連情報等を発信しております。 ・今後も「ひまわり便り」の発行を継続し、情報を発信出来るよう努めていきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	5			・個人が特定出来る書類等の取扱いには十分注意をしています。 ・避難時や戸外活動（散歩時）で緊急連絡用として自宅住所、電話番号を持ち出す場合があります。この際の取扱いにも十分注意をしています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・コミュニケーションを図る際は、必要に応じて言葉だけではなく、視覚情報を用いる等わかりやすく伝える工夫をしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・今後も地域住民を招待するような行事を開催する予定はありませんが、散歩の際には挨拶を交わす等、自然な関わりを実践していきます。 ・地元の高校生との交流は、今後も継続していきます。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・非常災害計画を策定し、施設の避難経路図を療育室前の壁に掲示している。 ・感染症対応については、必要に応じてひまわり便り等で情報を発信している。	・職員は、救命講習及び感染症予防研修会に出席し、適切な対応を学んでおります。 ・保護者への周知につきましては、掲示やひまわり便りにてお知らせしておりますが、今後はよりわかりやすいように周知の方法等を再度検討していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練は、年に2回程度実施しているが、主に職員間での確認にとどまっている状況である。 ・避難訓練を子ども達にどう伝えていくかを模索している。	・避難訓練等につきましては、利用者の年齢等に合わせ「災害時の対応」として段階的に伝えるられるように工夫していきます。 ・絵本や紙芝居等、視覚情報を交えて伝えていきます。

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			・今後も保護者からの聞き取りを徹底していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	4	1	・保護者からの聞き取りで確認している。	・今後も保護者からの聞き取りを徹底していきます。聞き取りした内容は、個別ファイルに記載することを徹底し、おやつを提供する際には、再度確認をしていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5			・ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で情報を共有しております。今後も気づきを共有し、事故がないよう注意していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・虐待防止に関する研修会に出席したり、虐待チェックリストを用いて日頃の行動を見直す機会を設けております。今後も適切な対応に努めていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		・身体拘束の必要がない利用者につきましては、児童発達支援計画への記載はしておりません。 ・対象となり得る場合には、十分な検討を重ねるよう努めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。